

安全データシート(SDS)

Data No : 0031
作成日2021年 4月 4日
改訂日2024年 3月18日

1. 化学物質及び会社情報

製品名(化学名、商品名等) : **DAPI (4,6-diamidino-2-phenylindole)**
製造元 : **Waterborne, Inc.**
製造元製品コード : **D101**
商品コード : **D101**

安全データシート対象物質 : メタノール ≤0.2%
労働安全衛生法:名称等を通知すべき危険物及び有害物
(法第57条、政令第18条第36号)

会社名 : 株式会社 ベリタス
住所 : 東京都港区浜松町1丁目18-16 住友浜松町ビル6階
電話番号 : 03-5776-0078
緊急時の電話番号 : 03-5776-0078
FAX番号 : 03-5776-0076
メールアドレス : veritas@veritastk.co.jp
推奨用途及び使用上の制限 : 蛍光検出試薬

【注意】

本試薬は混合物です。混合物としての性状は各々単品とは異なりますが、便宜的に個別の安全データシート対象物質の情報を記します。

本データシートはすべての情報を網羅しているわけではありません。従って、記載されている情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。

眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。 口をすすぐこと。 医師に連絡すること。
予想される急性症状及び遅発性症状	データなし
最も重要な兆候及び症状	データなし
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別注意事項	ばく露の程度によっては、定期健診が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤	適切な消火剤を使用すること
使ってはならない消火剤	利用可能な情報はない
特有の危険有害性	利用可能な情報はない
特有の消火方法	利用可能な情報はない
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

あ

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
回収・中和	不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
封じ込め及び浄化方法・機材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
保管	接触回避	利用可能な情報はない
	技術的対策	利用可能な情報はない
	混触危険物質	利用可能な情報はない
	保管条件	製品情報シートに記載された条件下で保管する。 施錠して保管すること。
	容器包装材料	データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	データなし
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
日本産衛学会	データなし
ACGIH	データなし

設備対策		利用可能な情報はない
保護具	呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
	手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
	眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策		この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	液体
	色	わずかに黄褐色
	臭い	無臭
	pH	データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
自然発火温度		データなし
燃焼性(固体、ガス)		データなし
爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		データなし
オクタノール・水分配係数		データなし
分解温度		データなし
粘度		データなし
粉じん爆発下限濃度		データなし
最小発火エネルギー		データなし
体積抵抗率(導電率)		データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	利用可能な情報はない
危険有害な分解生成物	利用可能な情報はない

11. 有害性情報

急性毒性	経口	データなし
	経皮	データなし
	吸入	吸入(ガス): GHSの定義における液体である。
		吸入(蒸気): データなし
		吸入(ミスト): データなし
皮膚腐食性・刺激性		データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性		データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性		呼吸器感受性: データなし

生殖細胞変異原性	皮膚感作性: データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
	メタノール: 妊娠マウスの器官形成期に吸入ばく露した試験において、胎児吸収、脳脱出などが見られ[PATY (5th, 2001)]、さらに別の吸入または経口ばく露による試験でも口蓋裂を含め、同様の結果が得られている[EHC 196 (1997)、DFGOT vol.16 (2001)]。メタノールの生殖への影響に関して、証拠の重みに基づく健康障害としての科学的判断がなされ、ヒトのデータは欠如しているが動物による影響は明確な証拠があることから、ばく露量が十分であればメタノールがヒトの発生に悪影響を及ぼす可能性があるとして結論されている[NTP-CERHR Monograph (2003)]。以上によりヒトに対して発生毒性が疑われる物質とみなされ、さらにメタノールの濃度が $\geq 0.3\%$ のため区分 1B とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし
12. 環境影響情報	
水生環境有害性 短期(急性)	データなし
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし
オゾン層への有害性	データ不測のため分類できない
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国際規制	海上規制情報
	IMOの規定に従う。
	UN No. —
	Proper Shipping Name. —
	Class —
	Sub Risk —
	Packing Group —
	Marine Pollutant —
	航空規制情報
	ICAO・IATAの規定に従う。
	UN No. —
	Proper Shipping Name. —
	Class —
	Sub Risk —
	Packing Group —
国内規制	陸上規制情報
	消防法、毒物及び劇物取締法の規定に従う。
	海上規制情報
	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号 —
	品名 —
	クラス —
	副次危険 —
	容器等級 —

海洋汚染物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	—
品名	—
クラス	—
副次危険等級	—
特別安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第 57 条の 3)
毒物及び劇物取締法	非該当
大気汚染防止法	特定物質 (法第17条第1項、政令第10条)
海洋汚染防止法	有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
消防法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条・別表第1の2第4号1・昭53労告36号)
16. その他の情報	
参考文献	各データ毎に記載した。